

7月度議員懇談会

## 福井の食を活かした観光振興について懇談



7月度議員懇談会を7月1日11時より福井商工会議所ビルにて開催し、77名が参加した。

開会にあたり八木会頭から挨拶が行われ、6月26日に経済産業省資源エネルギー庁を訪問し、3年に1度のエネルギー基本計画の見直しにあたって、エネルギー・原子力政策に関する提言を行ったことを報告した。特に、原子力発電所の廃止措置で発生するキュラランス物に関する福井県のリサイクル事業が、国のリーディングプロジェクトに位置付けられていることを受け、福井南高等学校の取り組みを紹介したことを報告。同校ではクリアランス金属を再利用して、水仙をモチーフにした防犯灯を作成し、地元自治会と連携して通学路に設置している。資源エネ



開会の挨拶を行う八木会頭

ルギー庁からは、「先駆的な事例であり、若者たちが原子力を自分事として捉えていることに大きな意義がある」と高く評価されたと振り返った。八木会頭は、高校生自らが意識を持って活動していることに感動を覚えるとともに、経済界としてもエネルギー・原子力政策に高い関心を持ち、実効性の高いエネルギー基本計画になるのか注視したいと述べた。

卓話に移り、(一社)日本のSAK EとWINEを愛する女性の会代表理事の友田晶子氏より「福井の食を活かした観光振興と地酒と食の魅力の伝え方」と題して卓話が行われた。

はじめに、友田氏の活動として、日本酒に関するセミナー講師や執筆などを手掛ける他、昨年から開催する日本初の女性審査員による日本酒コンクール「美酒コンクール」など、国内外での日本酒の普及や女性の日本酒資格取得促進に向けた活動が紹介された。

続いて、日本酒の魅力をどのように伝え、普及させていくかについての説明が行われた。友田氏は、作られる地域によって日本酒は異なる特色を持っており、水やお米がよいというのは全国一様であり、その地域だからこそその絶対的な個性をしっかりと紹介できる



日本酒の楽しみ方について講演する友田氏

ことが重要であると述べた。その上で、福井の地酒については、淡麗旨口という特徴があるとし、越前ガニなどの福井の食と併せた紹介の仕方の解説が行われた。また、この特徴を皆が認識して説明できるように、福井の地酒や食といった宝物をPRしていくことが重要だと締めくくった。

続いて、福井アリーナ(仮称)プロジェクトの進捗状況について、県都みらい創造委員会の梅田憲一委員長より説明が行われた。

### 【議員異動】(敬称略)

西日本電信電話(株)福井支店

(旧) 高島 勝之(支店長)

(新) 北大宅 勉(支店長)